



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバル
 コード番号 8275 URL <https://www.forval.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 將典
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 加藤 康二 TEL 03-3498-1541
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月8日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	49,788	0.1	2,616	△19.0	2,483	△25.3	1,357	27.2
2020年3月期	49,731	△13.5	3,229	0.2	3,324	0.5	1,067	△48.3

(注) 包括利益 2021年3月期 1,885百万円 (193.3%) 2020年3月期 642百万円 (△72.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	53.34	53.32	11.7	8.2	5.3
2020年3月期	42.48	—	10.0	10.8	6.5

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 2百万円 2020年3月期 30百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	31,410	13,040	39.5	484.87
2020年3月期	29,103	11,400	37.2	430.48

(参考) 自己資本 2021年3月期 12,400百万円 2020年3月期 10,829百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	2,716	△712	△845	10,905
2020年3月期	1,361	472	△946	9,742

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00	654	61.2	6.1
2021年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00	664	48.7	5.7
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	26.00	26.00		35.0	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	0.4	3,000	14.6	3,000	20.8	1,900	39.9	74.29

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	27,732,622株	2020年3月期	27,732,622株
2021年3月期	2,157,195株	2020年3月期	2,574,795株
2021年3月期	25,455,447株	2020年3月期	25,136,063株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

① 当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行の影響で輸出や生産が大幅に減少し、企業収益の悪化を受けて設備投資や雇用・所得環境にマイナスの影響が見られましたが、経済活動が徐々に再開していく中で輸出や生産は増加し、設備投資には持ち直しの動きが見られました。個人消費に関しては、外食や旅行等のサービス消費は依然として厳しく、持ち直しの動きが一服しています。

また、当社グループの事業領域である情報通信分野においては、クラウドやビッグデータ、IoT、AIなどを活用したサービスが拡大しています。

このような経営環境下、当社グループは「次世代経営コンサルタント」として企業経営を支援する集団となり、中小・中堅企業の利益に貢献することを目指し、「情報通信の知識・技術を駆使した経営コンサルティングサービス(情報通信)」、「海外マーケットを独自ノウハウで取り込む経営コンサルティングサービス(海外)」、「環境に配慮した最先端の経営コンサルティングサービス(環境)」、「次世代経営に必要な人材を育てる経営コンサルティングサービス(人材・教育)」、「企業のライフサイクルに対応した経営コンサルティングサービス(起業・事業承継)」の5分野において他社との差別化を図り、質の高いサービスを提供するためにM&Aも活用しながら事業の拡大に取り組んでいます。

このような状況下、当連結会計年度における連結業績は、以下のようになりました。

売上高は、新たに3社を連結子会社化したものの、新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、感染拡大防止策を講じたうえで影響を受けられているお客様への経営支援体制には万全を期す一方で、感染拡大による営業自粛、従業員の健康・安全及び稼働状況等を考慮して一部従業員の休業を実施した結果、前期に比べ57百万円増加し49,788百万円(前期比0.1%増)となりました。

利益面では売上総利益が前期に比べ960百万円減少(前期比5.1%減)する中で、販売費及び一般管理費は経費の削減に取り組んだことで前期に比べ348百万円減少(前期比2.2%減)した結果、営業利益は2,616百万円(前期比19.0%減)、貸倒引当金繰入額の増加等により経常利益は2,483百万円(前期比25.3%減)、前期は貸倒引当金繰入額2,244百万円の特別損失を計上したこともあり親会社株主に帰属する当期純利益は1,357百万円(前期比27.2%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

<フォーバルビジネスグループ>

連結子会社化した㈱三好商会、㈱えすみが寄与したほか「アイコンサービス」が堅調に推移するものの、サーバー等の機器販売が減少した結果、売上高は22,954百万円(前期比3.2%増)、セグメント利益は1,706百万円(前期比18.4%減)となりました。

<フォーバルテレコムビジネスグループ>

新電力サービスや保険サービスが増加する一方で、ISPサービスが減少した結果、売上高は21,265百万円(前期比2.6%増)、電力の仕入価格の一時的な高騰の影響もありセグメント利益は846百万円(前期比15.6%減)となりました。

<総合環境コンサルティングビジネスグループ>

太陽光発電システム等が減少した結果、売上高は4,052百万円(前期比25.9%減)、セグメント損失は0百万円(前期は74百万円の利益)となりました。

<その他事業グループ>

連結子会社化したカエルネットワークス㈱が寄与した結果、売上高は1,516百万円(前期比17.3%増)、セグメント利益は154百万円(前期比108.2%増)となりました。

② 次期の見通し

当社グループは、次世代経営コンサルタントとして企業経営を支援する集団となり、中小・中堅企業の利益に貢献することで顧客とのリレーションを強化し、ビジネスパートナーとしての確固たる地位を確立するとともに、ストック型の収益構造へとビジネスモデルの転換を図っております。特に、「情報通信の知識・技術を駆使した経営コンサルティングサービス（情報通信）」、「海外マーケットを独自ノウハウで取り込む経営コンサルティングサービス（海外）」、「環境に配慮した最先端の経営コンサルティングサービス（環境）」、「次世代経営に必要な人材を育てる経営コンサルティングサービス（人材・教育）」、「企業のライフサイクルに対応した経営コンサルティングサービス（起業・事業承継）」の5分野において他社との差別化を図り、主に「売上拡大」「業務効率改善」「リスク回避」の視点から中小・中堅企業の利益に貢献することを目指しております。

働き方の変化が新型コロナウイルスの蔓延によりさらに加速しております。在宅ワーク、ペーパーレスの促進など、新しい働き方環境に合わせた提案を行うことが当社グループの使命であると考えており、ハードウェアの販売からより新しい時代に適したサービス等の提供に更なる力を入れていく結果、売上高に関しては前年に対比しての伸びは限定的となっています。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は、新たに3社を連結子会社化した影響もあり、前連結会計年度末に比べ2,306百万円増加し31,410百万円となりました。

流動資産は22,335百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,493百万円増加しました。これは主として、現金及び預金が1,220百万円、受取手形及び売掛金が322百万円増加したためです。

固定資産は9,074百万円となり、前連結会計年度末に比べ812百万円増加しました。これは主として、有形固定資産が135百万円、のれんの増加により無形固定資産が729百万円増加したためです。

流動負債は15,547百万円となり、前連結会計年度末に比べ453百万円増加しました。これは主として、支払手形及び買掛金が263百万円、未払費用が143百万円、未払金が105百万円増加したのに対し、未払法人税等が159百万円減少したためです。

固定負債は2,822百万円となり、前連結会計年度末に比べ212百万円増加しました。これは主として、退職給付に係る負債が111百万円増加したためです。

また、純資産は13,040百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,640百万円増加しました。これは主として、親会社株主に帰属する当期純利益1,357百万円、自己株式の処分410百万円に対し、配当金の支払い654百万円により株主資本が1,179百万円、その他有価証券評価差額金の増加によりその他の包括利益累計額が391百万円増加したためです。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は10,905百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,162百万円の増加となっています。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は2,716百万円(前期比99.5%増)となりました。これは主として税金等調整前当期純利益が2,470百万円、減価償却費が523百万円、前払費用の減少額が508百万円あったのに対し、法人税等の支払額が1,170百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は712百万円(前期は472百万円の獲得)となりました。これは主として無形固定資産の取得による支出が350百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が421百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は845百万円(前期比10.7%減)となりました。これは主として短期借入金の純減額が156百万円、配当金の支払額が652百万円あったことによるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	32.6	37.2	39.5
時価ベースの自己資本比率(%)	64.5	97.9	71.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	6.5	3.0	1.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ	27.3	41.5	91.3

(注) 自己資本比率: 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率: 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率: 有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ: 営業キャッシュ・フロー/利息支払額

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

(注3) 営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

(注4) 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。

また、利息支払額については、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、配当による株主の皆様への利益還元を重要な経営課題のひとつと認識しておりますが、加えて今後の事業計画、財務状況等、中長期的観点から内部留保と安定した成果配分、双方のバランスにも配慮して配当金を決定しております。

当社は年1回の期末配当を行うことを基本方針としております。

このような方針のもと、2021年3月期の業績を踏まえ、期末配当を26円といたしました。次期におきましても普通配当26円とさせていただくことを予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、海外において事業展開しておりますが、資金調達が行っていないことから日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,742,855	10,963,616
受取手形及び売掛金	6,529,819	6,852,606
有価証券	100,242	100,177
商品及び製品	357,171	398,930
仕掛品	73,040	99,904
原材料及び貯蔵品	216,686	426,553
前払費用	1,386,364	1,279,410
未収入金	2,322,829	2,022,671
その他	288,753	355,520
貸倒引当金	△175,602	△164,069
流動資産合計	20,842,160	22,335,320
固定資産		
有形固定資産		
建物	695,917	914,753
減価償却累計額	△402,647	△584,442
建物(純額)	293,269	330,310
工具、器具及び備品	868,205	907,189
減価償却累計額	△698,792	△711,456
工具、器具及び備品(純額)	169,413	195,733
リース資産	—	414,384
減価償却累計額	—	△367,857
リース資産(純額)	—	46,526
土地	267,021	298,991
その他	205,868	214,074
減価償却累計額	△150,111	△165,108
その他(純額)	55,756	48,965
有形固定資産合計	785,461	920,528
無形固定資産		
のれん	488,483	1,139,567
ソフトウェア	605,122	662,593
ソフトウェア仮勘定	20,439	40,964
その他	3,433	3,411
無形固定資産合計	1,117,478	1,846,537
投資その他の資産		
投資有価証券	1,695,680	2,228,336
長期貸付金	175,784	160,279
長期前払費用	1,502,785	1,120,959
破産更生債権等	2,867,561	2,991,269
繰延税金資産	2,246,386	2,048,323
その他	708,196	717,250
貸倒引当金	△2,837,512	△2,958,683
投資その他の資産合計	6,358,882	6,307,735
固定資産合計	8,261,822	9,074,800
資産合計	29,103,983	31,410,121

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,215,294	5,478,629
短期借入金	3,956,000	3,866,480
未払金	2,683,402	2,788,981
未払費用	828,860	971,867
リース債務	—	46,382
未払法人税等	640,371	480,389
賞与引当金	724,335	680,901
役員賞与引当金	141,813	191,083
返品調整引当金	11,210	6,458
その他	892,918	1,036,187
流動負債合計	15,094,207	15,547,361
固定負債		
長期借入金	90,000	116,430
リース債務	—	24,061
退職給付に係る負債	2,454,502	2,566,066
役員退職慰労引当金	2,950	21,532
繰延税金負債	27,810	29,788
持分法適用に伴う負債	15,372	25,376
その他	18,984	39,192
固定負債合計	2,609,619	2,822,448
負債合計	17,703,826	18,369,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	2,311,603	2,496,015
利益剰余金	5,578,825	6,327,644
自己株式	△1,520,629	△1,274,001
株主資本合計	10,520,094	11,699,953
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	367,308	725,895
為替換算調整勘定	△30,664	△27,311
退職給付に係る調整累計額	△26,801	2,285
その他の包括利益累計額合計	309,842	700,870
新株予約権	48,728	40,841
非支配株主持分	521,490	598,646
純資産合計	11,400,156	13,040,311
負債純資産合計	29,103,983	31,410,121

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	49,731,520	49,788,843
売上原価	30,911,397	31,929,073
売上総利益	18,820,123	17,859,769
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	229,412	105,709
給料及び手当	6,807,550	6,887,995
退職給付費用	289,079	299,622
賞与引当金繰入額	664,380	685,100
役員賞与引当金繰入額	141,813	191,083
支払手数料	2,041,282	1,365,238
その他	5,417,593	5,708,083
販売費及び一般管理費合計	15,591,111	15,242,833
営業利益	3,229,011	2,616,936
営業外収益		
受取利息	8,052	6,521
受取配当金	23,617	17,652
持分法による投資利益	30,734	2,187
違約金収入	34,207	52,371
その他	114,367	58,459
営業外収益合計	210,979	137,191
営業外費用		
支払利息	32,453	29,966
貸倒引当金繰入額	66,815	218,238
その他	16,087	22,218
営業外費用合計	115,357	270,423
経常利益	3,324,633	2,483,705
特別利益		
固定資産売却益	27	699
投資有価証券売却益	349,092	—
新株予約権戻入益	18,516	7,911
その他	49,515	—
特別利益合計	417,152	8,610
特別損失		
固定資産除売却損	6,356	14,534
投資有価証券評価損	35,818	6,288
貸倒引当金繰入額	2,244,011	—
減損損失	35,389	960
その他	45,247	—
特別損失合計	2,366,823	21,783
税金等調整前当期純利益	1,374,963	2,470,531
法人税、住民税及び事業税	1,286,715	920,684
法人税等調整額	△762,917	45,710
法人税等合計	523,797	966,395
当期純利益	851,165	1,504,136
非支配株主に帰属する当期純利益	△216,577	146,317
親会社株主に帰属する当期純利益	1,067,742	1,357,818

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	851,165	1,504,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△205,771	349,187
退職給付に係る調整額	7,622	29,086
持分法適用会社に対する持分相当額	△10,141	3,353
その他の包括利益合計	△208,290	381,628
包括利益	642,875	1,885,764
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	859,452	1,739,447
非支配株主に係る包括利益	△216,577	146,317

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,150,294	2,291,104	5,138,537	△1,555,833	10,024,103
当期変動額					
剰余金の配当			△627,454		△627,454
親会社株主に帰属する当期純利益			1,067,742		1,067,742
自己株式の取得				△52	△52
自己株式の処分		18,950		35,257	54,207
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		1,548			1,548
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	20,498	440,288	35,204	495,991
当期末残高	4,150,294	2,311,603	5,578,825	△1,520,629	10,520,094

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	573,079	△20,523	△34,423	518,133	54,561	1,006,536	11,603,334
当期変動額							
剰余金の配当							△627,454
親会社株主に帰属する当期純利益							1,067,742
自己株式の取得							△52
自己株式の処分							54,207
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							1,548
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△205,771	△10,141	7,622	△208,290	△5,833	△485,046	△699,170
当期変動額合計	△205,771	△10,141	7,622	△208,290	△5,833	△485,046	△203,178
当期末残高	367,308	△30,664	△26,801	309,842	48,728	521,490	11,400,156

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,150,294	2,311,603	5,578,825	△1,520,629	10,520,094
当期変動額					
剰余金の配当			△654,103		△654,103
親会社株主に帰属する当期純利益			1,357,818		1,357,818
自己株式の処分		164,031		246,627	410,659
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		20,380	45,103		65,484
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	184,412	748,818	246,627	1,179,858
当期末残高	4,150,294	2,496,015	6,327,644	△1,274,001	11,699,953

	その他の包括利益累計額				新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	367,308	△30,664	△26,801	309,842	48,728	521,490	11,400,156
当期変動額							
剰余金の配当							△654,103
親会社株主に帰属する当期純利益							1,357,818
自己株式の処分							410,659
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動							65,484
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	358,586	3,353	29,086	391,027	△7,887	77,156	460,296
当期変動額合計	358,586	3,353	29,086	391,027	△7,887	77,156	1,640,154
当期末残高	725,895	△27,311	2,285	700,870	40,841	598,646	13,040,311

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,374,963	2,470,531
減価償却費	419,539	523,684
減損損失	35,389	960
のれん償却額	90,941	170,620
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,348,033	107,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	80,164	105,766
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△72,185	49,269
賞与引当金の増減額(△は減少)	25,470	△66,429
受取利息及び受取配当金	△31,669	△24,173
支払利息	32,453	29,966
持分法による投資損益(△は益)	△30,734	△2,187
固定資産除売却損益(△は益)	6,328	13,756
投資有価証券売却損益(△は益)	△349,092	—
投資有価証券評価損益(△は益)	35,818	6,288
売上債権の増減額(△は増加)	△613,083	△194,597
たな卸資産の増減額(△は増加)	221,342	△214,279
未収入金の増減額(△は増加)	△43,223	239,176
前払費用の増減額(△は増加)	△400,061	508,128
仕入債務の増減額(△は減少)	△135,660	55,007
未払金の増減額(△は減少)	△348,266	35,517
その他	116,269	58,118
小計	2,762,734	3,872,126
利息及び配当金の受取額	32,642	44,757
利息の支払額	△32,848	△29,748
法人税等の支払額	△1,400,801	△1,170,362
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,361,726	2,716,772
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	—	100,000
有形固定資産の取得による支出	△135,093	△124,197
無形固定資産の取得による支出	△190,495	△350,735
投資有価証券の取得による支出	△338,230	△20,423
貸付けによる支出	△100,817	—
貸付金の回収による収入	353,192	20,194
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△421,035
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	544,286	—
その他	339,239	83,904
投資活動によるキャッシュ・フロー	472,082	△712,293

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,000	△156,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△235,019	△107,090
配当金の支払額	△625,026	△652,300
非支配株主への配当金の支払額	△82,041	△83,941
その他	1,807	△45,826
財務活動によるキャッシュ・フロー	△946,280	△845,159
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,197	3,507
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	885,331	1,162,826
現金及び現金同等物の期首残高	8,832,403	9,742,855
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	25,121	—
現金及び現金同等物の期末残高	9,742,855	10,905,682

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症(以下、「本感染症」という。)の影響に関して、当社グループは現時点では、厳重な対策を実施した上で事業活動を継続しております。しかし、本感染症は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や終息時期等を予想することは困難なことから、当社グループは外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、今後、2022年3月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、企業グループ別に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、企業グループ別のセグメントから構成されており、「フォーバルビジネスグループ」、「フォーバルテレコムビジネスグループ」及び「総合環境コンサルティングビジネスグループ」の3つを報告セグメントとしております。

「フォーバルビジネスグループ」は、株式会社フォーバルを中心に、主としてオフィス用OA・ネットワーク機器の販売、サービスの取次、中小法人様向けコンサルティングサービスを行っております。「フォーバルテレコムビジネスグループ」は、株式会社フォーバルテレコムを中心に、主としてVoIP、モバイルなどの通信サービス全般の提供や普通印刷、保険サービス等を行っております。「総合環境コンサルティングビジネスグループ」は株式会社アップルツリーを中心に、主としてオール電化・エコ住宅設備、LED照明等の事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理は、たな卸資産の評価基準を除き、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益については、営業利益(のれん償却前)ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,244,723	20,727,055	5,467,155	48,438,934	1,292,585	49,731,520
セグメント間の内部 売上高又は振替高	529,606	550,393	23,348	1,103,348	63,386	1,166,734
計	22,774,329	21,277,449	5,490,504	49,542,283	1,355,971	50,898,255
セグメント利益	2,092,006	1,003,012	74,264	3,169,283	74,294	3,243,577
セグメント資産	16,409,138	11,277,584	927,822	28,614,544	489,438	29,103,983
その他の項目						
減価償却費	212,383	176,753	9,837	398,975	20,563	419,539
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	174,139	209,856	5,150	389,146	39,437	428,583

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,954,050	21,265,344	4,052,881	48,272,276	1,516,567	49,788,843
セグメント間の内部 売上高又は振替高	482,847	463,031	20,266	966,145	61,194	1,027,339
計	23,436,897	21,728,375	4,073,148	49,238,421	1,577,761	50,816,183
セグメント利益又は損 失(△)	1,706,951	846,624	△19	2,553,556	154,685	2,708,242
セグメント資産	18,695,495	11,163,893	723,954	30,583,343	826,777	31,410,121
その他の項目						
減価償却費	301,685	192,475	6,576	500,738	22,946	523,684
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	237,804	247,639	7,502	492,946	24,824	517,770

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,169,283	2,553,556
「その他」の区分の利益	74,294	154,685
セグメント間取引消去	3,122	5,796
のれんの償却額	△17,688	△97,102
連結財務諸表の営業利益	3,229,011	2,616,936

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	28,614,544	30,583,343
「その他」の区分の資産	489,438	826,777
連結財務諸表の資産合計	29,103,983	31,410,121

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	398,975	500,738	20,563	22,946	419,539	523,684
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	389,146	492,946	39,437	24,824	428,583	517,770

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%に満たないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%に満たないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	総合環境コ ンサルテ ィングビジネス グループ	その他	合計
減損損失	35,389	—	—	—	35,389

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	総合環境コ ンサルテ ィングビジネス グループ	その他	合計
減損損失	960	—	—	—	960

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	その他	合計
当期償却額	30,227	60,713	—	—	90,941
当期末残高	43,251	445,232	—	—	488,483

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	フォーバル ビジネス グループ	フォーバル テレコム ビジネス グループ	総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ	その他	合計
当期償却額	109,641	60,979	—	—	170,620
当期末残高	755,315	384,252	—	—	1,139,567

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	430.48円	484.87円
1株当たり当期純利益金額	42.48円	53.34円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	－円	53.32円

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	1,067,742	1,357,818
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	1,067,742	1,357,818
普通株式の期中平均株式数(株)	25,136,063	25,455,447
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	－	△657
(うち子会社の発行する潜在株式による調整額(千円))	－	△657
普通株式増加数(株)	－	－
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	(連結子会社) (株)フォーバル・リアルストレート 第6回新株予約権 普通株式 375,000株 (株)フォーバル・リアルストレート 第7回新株予約権 普通株式 432,500株 (株)フォーバル・リアルストレート 第8回新株予約権 普通株式 500,000株 (株)フォーバル・リアルストレート 第9回新株予約権 普通株式 590,000株	(連結子会社) (株)フォーバル・リアルストレート 第7回新株予約権 普通株式 392,500株 (株)フォーバル・リアルストレート 第10回新株予約権 普通株式 430,000株